

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よねの家		
○保護者評価実施期間	2025年 3月15日		～ 2025年 4月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2025年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	知識をもってお子様に対応していることで、お子様が本来持っている力を発揮している	発達の状態の正確な把握を行い、必要な支援の内容を職員間で共有し取り組む形にしている	職員の支援知識の向上をさらに強化していく(研修等の参加)
2	お子様の様子から支援内容を考慮し、それぞれのお子様のニーズに合った対応をしている	送迎時や過ごしの様子を毎回職員全員で共有し、気になることがあればすぐに対応するようにしている	気づきの力の向上から適切なサポート内容や的確な判断力につながるスキルの向上を目指すため研修等の参加促す
3	お子様の成長に合わせて環境を整え、心地いい空間づくりができています	お子様が興味をもてる固定の遊具の設置をしており、体力向上にもつなげている。精神を落ち着ける個室を設置	知育玩具の取り入れを計画している

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のお子様と活動する機会が少ない	公園と一緒にサッカーや野球、砂場あそびは時々あるが保護者の方々に伝達できていない。交流の場の設定を事前計画をたてておこなっていない	交流の場を事前計画をたて取り組むよりも、公園での交流する機会をふやしていきたい
2	利用回数が少ない児童さんの面談が行えていなかった	相談支援員さんとは連携をよくとりあっていたので、それで安心していた。数か月も利用がないことでこちらがしないと決定してしまっていた	利用回数にかかわらず、意向の確認は行っていく。
3			